

2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月26日

上場会社名 株式会社小野測器 上場取引所 東
 コード番号 6858 URL <https://www.onosokki.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 大越 祐史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 濱田 仁 (TEL) 045-476-9706
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 2023年8月28日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績 (2023年1月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	5,097	0.8	△374	—	△349	—	△484	—
2022年12月期第2四半期	5,057	2.8	△253	—	△208	—	△280	—

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 △152百万円(—%) 2022年12月期第2四半期 △43百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	△46.32	—
2022年12月期第2四半期	△27.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	19,385	13,218	66.9
2022年12月期	21,109	13,386	62.0

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 12,963百万円 2022年12月期 13,086百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2023年12月期	—	5.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	9.8	200	259.3	250	18.5	200	△18.9	18.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(セグメント情報)	P. 11
3. その他	P. 12
(ご参考資料)	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(事業環境)

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、世界的な半導体部品等の供給不足によるサプライチェーンの混乱、ロシアによるウクライナ侵攻を発端とするエネルギー価格の高騰、急速に円安傾向となっている為替相場の影響等により、引き続き先行きが不透明な状況が継続しております。また、当社にとって課題となっております部品供給不足は、全般的に解消に向かいつつありますが、コネクタ等の特定の部品は依然として入手難が継続しております。

(受注高、売上高及び受注残高の状況)

このような事業環境のなか、受注高は5,614百万円（前年同期比4.4%減）となりました。部品供給不足等の影響で長納期が常態化するなか、お客様の設備発注においても分散化の傾向が出ており、従前よりも状況が見通しづらくなっております。

売上高は、5,097百万円（前年同期比0.8%増）となりました。従来に比べ指定納期が分散した結果、第1四半期の売上高が減少し、第2四半期の売上高で補うべく活動してまいりましたが、当初計画に対し受注が低調であったこと、第2四半期に売上予定であった案件の一部が延伸となったこと等により、上期計画は未達成となりました。なお、受注残高は5,935百万円（前年同期比0.4%減）となりました。

(損益の状況)

損益面では、営業損益は374百万円の損失（前年同期は253百万円の損失）、経常損益は349百万円の損失（前年同期は208百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損益は484百万円の損失（前年同期は280百万円の損失）となりました。

前年同期に比べ、部品供給不足の中での原材料価格の上昇や生産の小ロット化等により計測機器の製造原価が上昇しております。また、人的資本の観点から、技術伝承やスキルアップ等の時間の確保などを推し進めたことから、固定費を含む売上原価率は、55.5%（前年同期は52.4%）と上昇しました。販売費及び一般管理費は、国内外における販売促進や展示会等の拡販のための活動を再開する一方、設計変更に伴う開発が一段落して研究開発費が減少し、14百万円の減少となりました。これらの結果、売上高が微増のなか売上原価率は上昇し、損失が拡大いたしました。

当社グループでは、大きく変化する事業環境に対応し、更なる成長を遂げ、また当社グループが描くビジョン（ありたい姿）を実現するため、新中期経営計画「Challenge StageⅢ」を策定いたしました。本中期経営計画におきましては、コロナ禍によって大きな影響を受けた業績の回復を目指し、「事業再生」の方針を掲げて推進しております。また、クラウド事業領域に進出する事を目的とした子会社として、株式会社Sound One（本社横浜市、資本金90百万円）を設立し、2022年9月より業務を開始した一方で、ソフトウェアのオフショア開発の拡大のため設立した子会社である小野測器ソフトウェア株式会社を、2023年5月1日をもって吸収合併いたしました。これらにつきましては、2022年1月28日公表の「中期経営計画「Challenge StageⅢ」策定に関するお知らせ」、及び2022年8月30日公表の「子会社設立に関するお知らせ」、並びに2023年3月17日公表の「連結子会社の吸収合併（簡易合併・略式合併）に関するお知らせ」をご参照ください。（当社ホームページ <https://www.onosokki.co.jp>）

コーポレートガバナンスの面においては、2023年3月17日開催の第69回定時株主総会において、取締役報酬に譲渡制限付株式報酬を導入する制度改定を行いました。またサステナビリティ推進の面においては、当社宇都宮テクニカル・アンド・プロダクトセンターの敷地の一部に太陽光発電パネルを導入することとし、本年度中に着工する予定です。またカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みの一環として、当社の事業活動における温室効果ガス排出量の算出にも着手しております。人財の面においては、技術伝承の加速とエンゲージメントの向上を図るため、2023年7月1日付けで人事制度を改定し、従業員の定年を60歳から65歳へと延長いたしました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

<計測機器>

「計測機器」は、受注高は1,982百万円（前年同期比0.7%増）、売上高は1,946百万円（前年同期比1.7%増）、セグメント損益は113百万円の損失（前年同期は49百万円の損失）となりました。

回転速度分野、寸法変位分野など生産ライン関連商品や、音響・振動関連のセンサ類、半導体製造ライン向けの

厚さ計等が好調に推移し、またデータ処理分野におきましても、堅調でありました。一方、自動車計測関連商品はやや低調となっております。全般的に引合いは拡大傾向にありますが、お客様の予算決裁に時間がかかり、受注時期が分散化しております。なお、受注残高は784百万円(前年同期比10.5%減)となりました。

当社の製品は多品種少量生産であることから、部品の長納期化の影響は広範囲の製品に及びます。前連結会計年度において大きな課題となった部品供給不足は、全般的に解消に向かいつつありますが、コネクタ等の特定の部品は依然として入手難が継続しており、引き続きリスクと認識しております。また、部品供給不足の中での原材料価格の上昇や生産の小ロット化等により売上原価率が上昇し、減益の要因となりました。

<特注試験装置及びサービス>

「特注試験装置及びサービス」は、受注高は3,625百万円(前年同期比6.9%減)、売上高は3,145百万円(前年同期比0.2%増)、セグメント損益は259百万円の損失(前年同期は203百万円の損失)となりました。

部品供給不足等の影響で長納期が常態化するなか、お客様の設備発注においても、一定のリードタイムを確保していただけたことから、納期が分散する傾向が見られ、従来に比べ第1四半期での売上高が減少し、第2四半期の売上高がこれを補うこととなりました。なお、受注残高は5,150百万円(前年同期比1.4%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間においては、特注試験機の新規受注が緩やかに推移する一方、既存設備の改造、修理・校正などのアフターサービスや受託試験などのエンジニアリング領域は、好調に推移しております。また、当社の計測技術および受託試験で得た知見を活かし、電動車両のベンチマーキングレポートの販売に参入することとし、6月12日より受注を開始いたしました。

<その他>

「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業務及び当社が所有する土地・建物の管理業務、その他当社からの委託業務等を行っております。

当区分の売上高は76百万円(前年同期比1.9%減)、セグメント利益は12百万円(前年同期比16.8%減)となりました。なお、当区分の外部顧客に対する売上高は5百万円(前年同期比4.2%減)であります。

(参考) セグメント別の受注実績及び売上実績ならびに営業利益実績

受注実績

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減(金額)	増減(比率)(%)
計測機器	1,968	1,982	14	0.7
特注試験装置及びサービス	3,895	3,625	△269	△6.9
その他	78	76	△1	△1.9
(調整額)(注)1	△72	△70	1	—
合計	5,869	5,614	△255	△4.4

(注) (調整額)はセグメント間取引消去であります。

売上実績

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減(金額)	増減(比率)(%)
計測機器	1,913	1,946	33	1.7
特注試験装置及びサービス	3,138	3,145	6	0.2
その他	78	76	△1	△1.9
(調整額)(注)1	△72	△70	1	—
合計	5,057	5,097	40	0.8

(注) (調整額)はセグメント間取引消去であります。

営業利益実績

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減(金額)	増減(比率)(%)
計測機器	△49	△113	△63	—
特注試験装置及びサービス	△203	△259	△55	—
その他	14	12	△2	△16.8
(調整額)(注)1	△14	△13	0	—
合計	△253	△374	△121	—

(注) (調整額)はセグメント間取引消去であります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は19,385百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,723百万円減少しました。主な内訳は、現金及び預金の減少、売掛金の減少、投資有価証券の時価評価による増加であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は6,166百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,556百万円減少しました。主な内訳は、短期借入金の返済による減少、1年内返済予定長期借入金の返済による減少、長期借入金の増加であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は13,218百万円となり、前連結会計年度末に比べ167百万円減少となりました。主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による減少、投資有価証券の時価評価によるその他有価証券評価差額金の増加であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ211百万円減少(△9.3%)し、2,065百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,375百万円の収入(前年同期は875百万円の収入)となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純損失350百万円、減価償却費269百万円、売上債権の減少額2,150百万円、棚卸資産の増加額200百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、195百万円の支出(前年同期は220百万円の支出)となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出117百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,452百万円の支出(前年同期は629百万円の支出)となりました。主な内訳は、短期借入金の減少額1,700百万円、長期借入れによる収入800百万円、長期借入金の返済による支出500百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績においては、2023年1月31日公表の業績予想を下回ったため、2023年7月24日に「連結業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。期首の受注残高は増加しておりましたが、売上予定であった案件が先送りとなったこと、部品供給不足の中での原材料価格の上昇や生産の小ロット化により原価が上昇したこと等により売上高、利益ともに下方修正いたしました。

通期連結業績予想につきましても、売上原資となる受注残は一定程度確保できておりますが、上期の減少分を補うまでには至らないことから、売上高、利益ともに下方修正いたしました。

今後につきましては、新規受注の獲得、販売強化、業務の効率化、コストダウンを推進し、通期業績予想の達成に注力してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,276	2,065
受取手形	272	266
売掛金	3,195	1,205
商品及び製品	498	564
仕掛品	1,003	1,094
原材料及び貯蔵品	1,060	1,114
その他	139	246
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	8,441	6,550
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,307	3,204
土地	6,743	6,743
その他（純額）	646	667
有形固定資産合計	10,698	10,616
無形固定資産	313	330
投資その他の資産		
投資有価証券	1,388	1,684
繰延税金資産	77	14
その他	190	188
投資その他の資産合計	1,656	1,887
固定資産合計	12,667	12,834
資産合計	21,109	19,385

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	386	309
短期借入金	3,600	1,900
1年内返済予定の長期借入金	500	268
未払法人税等	87	59
賞与引当金	61	95
その他	1,098	1,073
流動負債合計	5,732	3,704
固定負債		
長期借入金	-	532
退職給付に係る負債	1,885	1,832
繰延税金負債	0	68
その他	103	29
固定負債合計	1,990	2,461
負債合計	7,722	6,166
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,134	7,134
資本剰余金	1,800	1,800
利益剰余金	4,907	4,324
自己株式	△1,317	△1,168
株主資本合計	12,524	12,089
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	470	708
為替換算調整勘定	92	160
退職給付に係る調整累計額	△0	5
その他の包括利益累計額合計	562	873
新株予約権	188	123
非支配株主持分	110	132
純資産合計	13,386	13,218
負債純資産合計	21,109	19,385

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	5,057	5,097
売上原価	2,652	2,828
売上総利益	2,404	2,268
販売費及び一般管理費	2,658	2,643
営業損失(△)	△253	△374
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	25	27
受取保険金	14	-
雇用調整助成金	3	-
賃貸収入	9	12
その他	16	10
営業外収益合計	71	51
営業外費用		
支払利息	10	13
支払手数料	4	7
賃貸収入原価	3	0
その他	7	5
営業外費用合計	26	27
経常損失(△)	△208	△349
特別利益		
投資有価証券売却益	7	0
特別利益合計	7	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損	-	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純損失(△)	△201	△350
法人税、住民税及び事業税	18	34
法人税等調整額	68	86
法人税等合計	87	120
四半期純損失(△)	△288	△471
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8	13
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△280	△484

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△288	△471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	110	237
為替換算調整勘定	130	76
退職給付に係る調整額	4	5
その他の包括利益合計	245	319
四半期包括利益	△43	△152
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△46	△173
非支配株主に係る四半期包括利益	2	21

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△201	△350
減価償却費	263	269
株式報酬費用	41	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24	32
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△56	△48
受取利息及び受取配当金	△27	△29
支払利息	10	13
投資有価証券売却損益 (△は益)	△7	0
固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	943	2,150
棚卸資産の増減額 (△は増加)	23	△200
仕入債務の増減額 (△は減少)	△156	△79
未払消費税等の増減額 (△は減少)	98	△101
その他	△65	△255
小計	890	1,400
利息及び配当金の受取額	27	29
利息の支払額	△11	△14
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△31	△40
営業活動によるキャッシュ・フロー	875	1,375
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△126	△117
無形固定資産の取得による支出	△47	△67
投資有価証券の取得による支出	△76	△41
投資有価証券の売却による収入	26	28
その他	4	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△220	△195
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△600	△1,700
長期借入れによる収入	-	800
長期借入金の返済による支出	△28	△500
自己株式の純増減額 (△は増加)	0	0
配当金の支払額	△0	△51
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△629	△1,452
現金及び現金同等物に係る換算差額	104	61
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	129	△211
現金及び現金同等物の期首残高	2,026	2,276
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,156	2,065

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	計測機器	特注試験 装置及び サービス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,913	3,138	5,051	6	5,057	—	5,057
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	72	72	△72	—
計	1,913	3,138	5,051	78	5,129	△72	5,057
セグメント利益又は損失(△)	△49	△203	△253	14	△238	△14	△253

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業務及び当社が所有する土地・建物・設備の管理業務、その他当社からの委託業務等を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△14百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	計測機器	特注試験 装置及び サービス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,946	3,145	5,091	5	5,097	—	5,097
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	70	70	△70	—
計	1,946	3,145	5,091	76	5,168	△70	5,097
セグメント利益又は損失(△)	△113	△259	△372	12	△360	△13	△374

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業務及び当社が所有する土地・建物・設備の管理業務、その他当社からの委託業務等を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△13百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. その他

(ご参考資料)

(主要な経営指標等の推移)

(経営成績)

回次	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	(参考)	前年同期 比増減額	前年同期 比増減率 (%)
決算年月	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12	2023/ 6	2022/ 6		
受注高 (百万円)	13,308	9,983	11,241	11,201	5,614	5,869	△255	△4.4
売上高 (百万円)	13,034	11,841	9,852	10,928	5,097	5,057	40	0.8
営業利益 (百万円)	454	△566	△859	55	△374	△253	△121	—
売上高営業 利益率(%)	3.5	△4.8	△8.7	0.5	△7.3	△5.0	△2.3	—
経常利益 (百万円)	499	△523	△685	211	△349	△208	△141	—
売上高経常 利益率(%)	3.8	△4.4	△7.0	1.9	△6.9	△4.1	△2.7	—
親会社株主 に帰属する 当期純利益 (百万円)	357	△576	△1,271	246	△484	△280	△204	—
売上高当期 純利益率(%)	2.7	△4.9	△12.9	2.3	△9.5	△5.5	△4.0	—
自己資本利 益率(%)	2.4	△4.0	△9.6	1.9	△3.7	△2.3	△1.5	—

(財政状態)

回次	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	(参考)	前期末比 増減額	前期末比 増減率 (%)
決算年月	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12	2023/ 6	2022/ 6		
資産合計 (百万円)	22,043	20,807	19,446	21,109	19,385	18,940	△1,723	△8.2
負債合計 (百万円)	6,938	6,596	6,725	7,722	6,166	6,223	△1,556	△20.1
純資産 合計 (百万円)	15,104	14,211	12,720	13,386	13,218	12,717	△167	△1.3
自己資本比 率(%)	67.6	67.3	64.1	62.0	66.9	65.6	4.9	—

(キャッシュ・フロー)

回次	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	(参考)	前年同期 比増減額	前年同期 比増減率 (%)
決算年月	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12	2023/ 6	2022/ 6		
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	208	1,879	△498	△230	1,375	875	500	57.2
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△765	△1,303	△2	△160	△195	△220	24	△11.2
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	394	317	△374	569	△1,452	△629	△822	130.6
現金及び現金 同等物の期末 残高(百万円)	1,967	2,843	2,026	2,276	2,065	2,156	△90	△4.2

(1株当たり情報/その他)

回次	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	(参考)	前年同期 比増減額	前年同期 比増 減率 (%)
決算年月	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12	2023/ 6	2022/ 6		
1株当たり 純資産 額(円)	1,333.93	1,249.35	1,206.19	1,262.78	1,226.34	1,199.32	—	—
1株当たり 当期純 利益金額 (円)	32.03	△51.43	△114.67	23.82	△46.32	△27.08	—	—
設備投資 額(百万円)	877	1,136	235	455	201	169	31	18.7
減価償却 費(百万円)	787	824	798	543	269	263	6	2.4
研究開発 費(百万円)	1,326	1,476	1,176	1,298	576	667	△90	△13.5

セグメント別 四半期推移(会計期間)

単位(百万円)

		2021年 2Q	2021年 3Q	2021年 4Q	2022年 1Q	2022年 2Q	2022年 3Q	2022年 4Q	2023年 1Q	2023年 2Q
受注高	計測器	921	901	1,181	1,023	944	957	960	1,127	855
	特注試験装置	2,265	1,725	1,818	1,481	2,414	1,804	1,603	1,987	1,638
	その他	39	38	39	37	40	40	38	37	39
	合計	3,190	2,629	3,002	2,506	3,363	2,765	2,566	3,116	2,497
売上高	計測器	793	913	988	1,205	707	818	1,227	1,045	900
	特注試験装置	1,425	1,231	1,792	2,188	950	1,181	2,636	1,736	1,408
	その他	39	38	39	37	40	40	38	37	39
	合計	2,223	2,148	2,784	3,395	1,661	2,003	3,867	2,784	2,313
受注残高	計測器	640	628	821	638	876	1,015	748	829	784
	特注試験装置	3,804	4,297	4,323	3,616	5,080	5,703	4,669	4,920	5,150
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	4,445	4,926	5,145	4,255	5,957	6,718	5,418	5,750	5,935
営業利益	計測器	△232	△80	△3	162	△212	△103	271	23	△137
	特注試験装置	△321	△281	22	273	△476	△220	360	10	△269
	その他	6	8	7	6	7	9	7	6	5
	合計	△553	△361	17	434	△687	△323	632	32	△407

前年同四半期比増減金額

単位(百万円)

		2021年 2Q	2021年 3Q	2021年 4Q	2022年 1Q	2022年 2Q	2022年 3Q	2022年 4Q	2023年 1Q	2023年 2Q
受注高	計測器	214	△12	228	△64	23	56	△220	103	△89
	特注試験装置	476	468	279	152	148	78	△214	506	△775
	その他	0	0	△0	0	0	1	△0	△0	△0
	合計	690	456	506	87	173	135	△435	610	△865
売上高	計測器	85	156	△28	135	△86	△94	238	△160	193
	特注試験装置	△872	△11	△148	563	△475	△50	844	△451	458
	その他	0	0	△0	0	0	1	△0	△0	0
	合計	△786	145	△178	698	△561	△144	1,083	△611	651
受注残高	計測器	238	69	326	125	235	386	△72	191	△92
	特注試験装置	153	633	1,062	651	1,276	1,405	346	1,304	69
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	392	703	1,388	777	1,512	1,792	273	1,495	△22
営業利益	計測器	95	182	10	156	19	△23	275	△138	74
	特注試験装置	△210	16	△121	241	△155	61	338	△262	207
	その他	2	4	1	1	0	1	△0	△0	△1
	合計	△112	199	△112	397	△134	38	614	△401	280